

第2回 須崎港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

1. 日時

令和6年6月7日(金) 13:00～14:30

2. 場所

須崎総合保健福祉センター 〈WEB 会議併用〉

3. 議事概要

(1) 須崎港港湾脱炭素化推進協議会について

須崎港港湾脱炭素化推進協議会設置要綱第5条第4項に基づき、過半数以上の出席を報告、会の成立を確認した。

(2) 須崎港脱炭素化計画の検討状況

須崎港脱炭素化計画のCO₂排出量の推計結果・削減目標、次世代エネルギーの補給目標、今後のスケジュールについて協議した。

(3) 中国四国地方環協事務所からの情報提供

カーボンニュートラルの実現に向けた環境省の取組・支援策等について、情報提供を受けた。

(4) 四国経済産業局からの情報提供

中小企業等のカーボンニュートラル支援策について、情報提供を受けた。

4. 意見・質問等

No.	発言内容
1	【意見】 ・削減計画の目標が短期的にはやや低めに見える。 ・今後、企業努力が非常に重要であり、その結果は産業プロセスやターミナル外の排出量に影響を与える。具体的な方策があれば記載していくべき。 ・CO2 排出量の減少については、企業の努力には限界があるため中期的な努力の具体的な計画を示し、高知県のミッションである 2050 年までの排出量ゼロに向けての議論を深める必要がある。 ・今後の施設整備や実現可能な削減量について議論し、具体的なシナリオや項目を追加するべき。 【回答】：了解した。
2	【意見】 ・2030 年までの削減目標は今回立案された。達成できなくとも罰則はないものの、公表されると県民が気にする可能性があるため具体的な短期目標が必要である。 ・22 ページの「今後の進め方」に記載されている第 3 回会議（未定）では、計画の達成状況の評価や促進事業の実施主体について議論される予だが。その際、今の段階でのイメージでも共有できる内容があれば教えてほしい。 【回答】 ・既に取り組まれている対策に加え、他の企業でも考えられている取り組みをヒアリング等調査し追加する予定。 ・県における取り組みでは、道路照明の LED 化、公共ふ頭における船舶への陸上電力供給などが考えられる。 また、他港の先行事例や企業活動において須崎港に組み入れできそうな事例等もあれば、ここに加えていきたいと考えている。